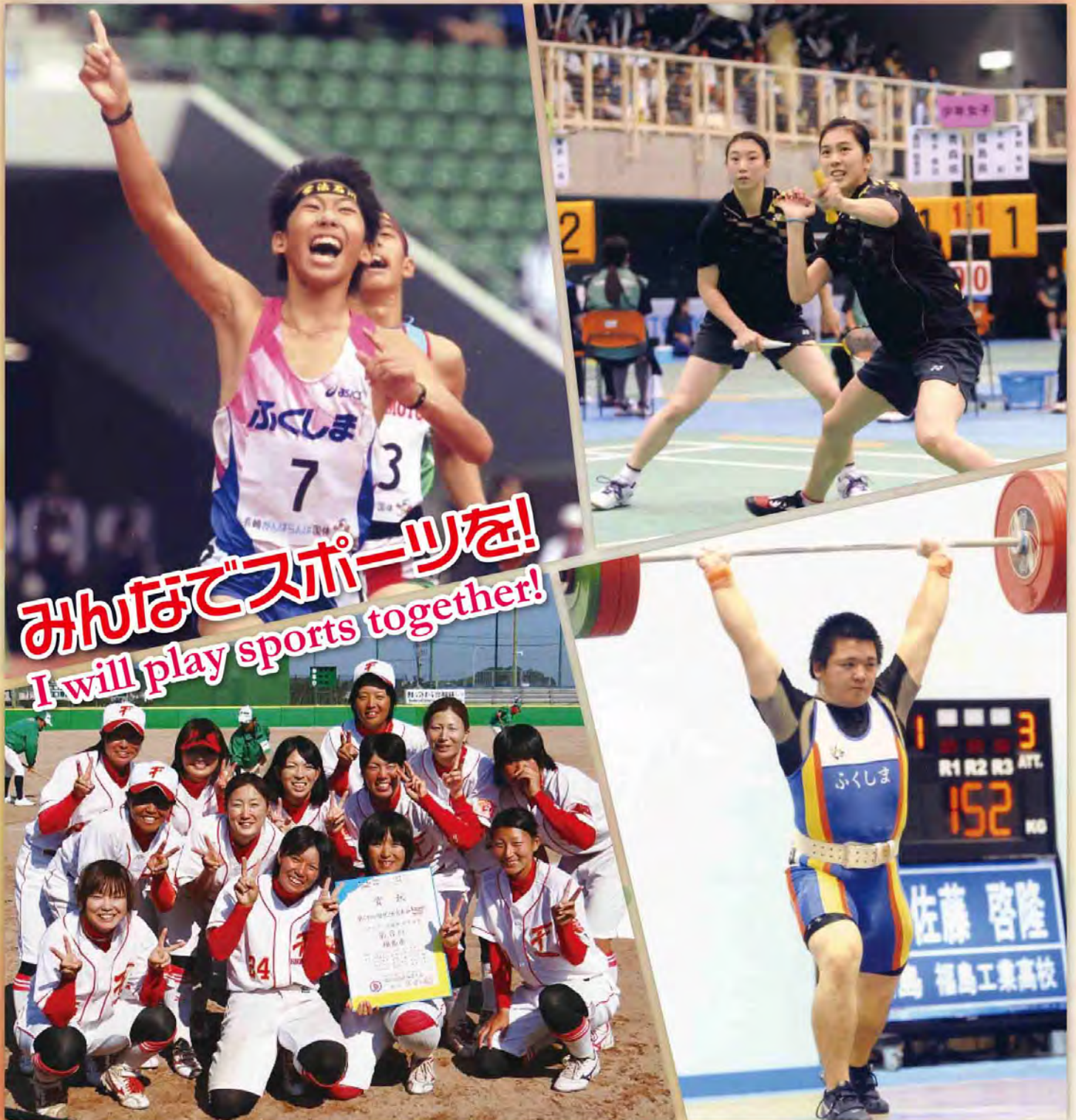


Sports Fukushima

スポーツふくしま

32
2014.12

(公財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



巻頭言

一流選手に学ぶ

「何をもって一流とするかは人間には決定できない。神様の領域だ。だから努力しても一流になれるとは限らない。けれども謙虚に努力すれば二流にはなれる。一流の意味がわかる人のことを二流という。一流も二流も分からない人を三流という。だから、二流と三流の間はもう無限大の距離だ」と、戦後詩壇を代表するひとり田村隆一氏は人の才能についてこのように述べている。私も三流の人間だと思っているから「一流選手に学ぶ」などと大それたテーマにすること自体畏れ多いことであるが、一般的な目でみる一流選手という観点から述べてみたい。

一流選手と言うことばを聞いたら、皆さんはどのような選手を連想するだろうか。「心・技・体」がそろった選手とか、人並み外れた体力と技術、そして強靱な精神力を持って勝ち続ける選手を思い浮かべるのではないかと思う。

本年の6月に福島県で開催した第98回日本陸上競技選手権は、関係者の願いもかなわず3日間とも大雨に祟られた大会となったが、悪条件であったがゆえに一流選手(といわれる)の流儀を見聞する機会に恵まれた。

この雨が、私には本大会の見どころのひとつとして期待されていた室伏選手のハンマー投げにどのような影響を与えるのかが心配だった。室伏選手の競技日程は7日、前日6日の全競技が終わったあと競技役員が翌日の準備を整え終わったころに室伏選手がやってきた。彼は開口一番「サークルを見せていただけますか…」と競技役員に申し出て、サークルに入りシューズで滑り具合や性状確認を行った。瞬間的に滑りやすいと感じたのだろう「中性洗剤で洗うとぬめりが取れるので中性洗剤で洗っていただきたい」と願い出た。洗った後に、準備してきた投てき用のシューズを何足か履いてみて真剣に空ターンをして確認し、翌日の本番用シューズも選択して競技場をあとにした。(表面のぬめりは常にゴムシートをかぶせているがゆえに発生するカビが原因なので、中性洗剤で洗えば落とせるということであった)

翌日の本番においては、今シーズンに入って初めての投てきながら70Mラインを軽々と越える圧巻の投てきを披露し、早々に優勝を決めてしまった。当初の心配が杞憂に終わりほっとしたものである。その他の選手の言動はどう

副会長(福島陸上競技協会 会長) 片平 俊夫

だったかということ、翌日も大雨という予報に「気分がのらないし、記録も狙えないな」とか「雨、何とかならないのか」などと雨天を嘆く声ばかりが聞こえたという。雨の予報に対して雨の中の競技をシミュレーションしその対策を丁寧に行う。勝負の日は何事にも動じることなく堂々と競技をする。他の競技においても選手たちは真剣勝負の場と心得て細心の準備をすると思うが、競技者としてのセオリーを黙々と実践する姿に私はすごく感動した。その上競技終了後、彼は「会長さん、こんなに気持ちよく投げることができたのは初めての経験でした。福島の皆さんは大雨にもかかわらずサークルの前に陣取って、立ったまま最後まで応援してくれました。何て温かい人たちのだろうと私は一投ごとに皆さんの前に行き御礼を言いたかったくらいです。福島の復興に少しでもお役に立てればと思いますながら必勝準備をしてきましたので今日の優勝はとても嬉しいです。福島県の人たちは本当に素晴らしいですね!」と素直にその心境を話してくれた。表彰式は屋内で行われたが、副賞である柏屋さん提供のビッグな20キロ饅頭に相好を崩しながらも「やはり皆さんにお礼が言いたい!」と雨ふりしきる外に飛び出して観衆の皆さんに感謝を表すべく手を振っていた。その姿を眺めながら、20連覇という偉業達成の陰には常に勝負師として用意周到、坦々と努力してきた歴史があったのだろうと、私はこの若者は「まさに神様の領域にある一流選手だ」と畏敬の念を募る思いであった。

幸いにも、本県には東邦銀行の陸上部をはじめとして人間力に優れた魅力的な選手がたくさんおり、これから羽ばたくジュニアの選手たちにとってこの上なく幸せな環境を形成していただいている。

福島陸上競技協会としては、この室伏広治選手のような優れた力量と人間力を有する選手を多数育成し、ぜひとも6年後の東京オリンピックに複数の選手を日本代表として送り込まなければと、気持ちを引き締めているところである。



も

1 巻頭言

く

2 第69回 国民体育大会成績

第69回 国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿

じ

7 第69回 国体本大会寄稿

8 親子体操教室・実技講習会、インフォメーション

9 ふくしまから世界へ!「ふくしま夢アスリート」

育成支援事業

11 第1回福島県スポーツ指導者研修会

スポーツ医事・トレーニング相談事業

12 うつくしま広域スポーツセンター事業の様子

13 みんなでつくろう総合型!

総合型地域スポーツクラブ!

14 賛助会員名簿・賛助会員加入のお願い

編集後記

【表紙写真説明】第69回国民体育大会(写真提供:福島民友新聞社)

陸上(遠藤日向選手)・ソフトボール成年女子・ウエイトリフティング(佐藤啓隆選手)・バドミントン(大堀彩選手・東野有紗選手)

第69回 国民体育大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団 長	参 加 競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート アイスホッケー競技会	H26. 1/28(火)～ 2/2(日)	栃 木 県 日 光 市	佐藤 英壽	2	8	6	35	49
	スキー競技会	H26. 2/21(金)～2/24(月)	山 形 県 山 形 市 上 山 市	渡部 孝美	1	11	10	49	70
本 大 会		H26. 10/12(日)～10/22(水) (会期前競技:9/11(木)～14(日))	長 崎 県 長 崎 市	宗形 守敏	34	18	62	368	448

2 競技成績

大会	区分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
スケート競技会		16点	10点	26.0点	19位	10点	10点	20点	20位
アイスホッケー競技会		5点	10点	15.0点	11位	—	—	—	—
スキー競技会		7.5点	10点	17.5点	16位	6.5点	10点	16.5点	12位
本 大 会		394.5点	370点	764.5点	32位	155点	280点	435点	31位
合 計		423点	400点	823点	34位	171.5点	300点	471.5点	29位

※冬季大会(スケート・アイスホッケー・スキー競技)の入賞状況は、スポーツふくしま31号をご参照ください。

第69回 国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿



寺田拓未選手



吉田真弘選手



布川輝選手

●水泳競技 競技得点 8点 天皇杯 38位 皇后杯 38位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
少年男子	A200mバタフライ	3	6	寺 田 拓 未	湯本高等学校 2年
成年男子	飛板飛込	7	2	西 川 友 章	清陵情報高等学校 教員

●ウエイトリフティング競技 競技得点 46点 天皇杯 10位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子	53kg級スナッチ	2	7	吉 田 真 弘	デイサービスいしかわ
	53kg級C&J	1	8	吉 田 真 弘	デイサービスいしかわ
	62kg級スナッチ	4	5	黒 江 雄 治	川俣高等学校 職員
少年男子	62kg級C&J	6	3	黒 江 雄 治	川俣高等学校 職員
	94kg級スナッチ	2	7	佐 藤 啓 隆	福島工業高等学校 3年
	94kg級C&J	1	8	佐 藤 啓 隆	福島工業高等学校 3年
	105kg級スナッチ	7	2	菅 野 直 人	田村高等学校 3年
	105kg級C&J	3	6	菅 野 直 人	田村高等学校 3年

●陸上競技 競技得点 54点 天皇杯 13位 皇后杯 10位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年女子	100m	2	7	渡 辺 真 弓	東邦銀行
	400m	3	6	千 葉 麻 美	東邦銀行
	走幅跳	1	8	五十嵐 麻 央	福島大学 4年
	ハンマー投げ	4	5	佐 藤 若 菜	東邦銀行
	女子共通4×100mR	8	1	渡 辺 真 弓	東邦銀行
				千 葉 麻 美	東邦銀行
				新 田 彩	日大東北高等学校 2年
				小 杉 恵 理	会津学鳳高等学校 1年
少年男子	A400mH	2	7	渡 部 佳 朗	喜多方桐桜高等学校 3年
	Aやり投	7	2	村 澤 雄 平	会津学鳳高等学校 3年
	B3000m	1	8	遠 藤 日 向	学法石川高等学校 1年
	B砲丸投	2	7	布 川 輝	小高工業高等学校 1年
少年女子	B100m	6	3	小 杉 恵 理	会津学鳳高等学校 1年



サッカー女子



ボクシング 成年男子・少年男子



村上真統選手

● サッカー競技 競技得点 40点 天皇杯 11位 皇后杯 4位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
女子		4	40	平出 遥夏	日本体育大学 3年
				植田 悠莉子	富岡高等学校 2年
				橋沼 真帆	富岡高等学校 2年
				森田 海	富岡高等学校 2年
				中條 結依	富岡高等学校 2年
				水谷 有希	富岡高等学校 3年
				北川 ひかる	富岡高等学校 2年
				守屋 都弥	富岡高等学校 3年
				渡辺 瑞稀	国士舘大学 2年
				須永 愛海	仙台大学 2年
				立花 葉	富岡高等学校 2年
				今野 楓	富岡高等学校 3年
				五十嵐 香月	国士舘大学 1年
				千葉 玲海菜	平第三中学校 3年
				猪狩 有莉	富岡高等学校 2年

● ボクシング競技 競技得点 17点 天皇杯 17位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	バンタム級	5	2.5	伊藤 悠樹	郡山自衛隊
	ライト級	5	2.5	遠藤 智秀	東洋大学
少年男子	バンタム級	5	2.5	高橋 烈	会津工業高等学校 3年
	ライトウェルター級	2	7	村上 真統	平工業高等学校 3年
	ウェルター級	5	2.5	五ノ井 一幸	会津工業高等学校 2年

長崎国体を振り返って

サッカー競技女子監督 富岡高等学校 教諭 松本 克典

はじめに、今回「第69回国民体育大会長崎がんばらんば国体」に参加するにあたり、多くの方々のご協力をいただき、本当に感謝いたします。

私たちはこの大会に臨むにあたり、「優勝」を目標に掲げていました。これは決して夢のような目標ではなく、必ず実現させると強い思いを持って大会に挑みました。本県国体女子サッカーではこれまで何度となくベスト4の壁を破れず、大会を終えておりましたので、そういった意味では今回の4位という成績は、初のベスト4進出を果たしたという達成感もありますが、優勝まで手が届かなかった、そして準決勝からの2試合で勝ちを得ることができなかったという悔しさも強く残りました。

今回の国体チームはJFAアカデミー福島の生徒を中心に、富岡高校女子サッカー部や同校の卒業生、平第三中学校、サポートメンバーとして磐城桜が丘高校の生徒で構成しました。女子は「成年」というくくりの中で上は大学生から下は中学生まで幅広い年齢層で構成されるので、チーム内でのコミュニケーションが難しく、非常に重要になります。また普段別々の環境で活動しているため、まとまった練習などはできませんでしたが、東北総体時、そして本大会期間中キャプテンの水谷(高3)を中心に非常によい雰囲気をつくり大会に臨んでくれました。

一回戦では、初戦の緊張感のなかでも、前半早い時間帯で得点を奪うことができ、強豪大阪府に競り勝つことができました。二回戦の鹿児島県は高校生が主体で勢いのあるチームでしたが、前半0-0で折り返し、後半少しづつ押し込みながらゲームを進め、初の準決勝進出を決めました。

準決勝の相手愛媛県は、単独チームメンバーでの構成により、非常に完成されたチームではありましたが、試合を通して粘り強く戦い、自分たちも決定機を作る場面もありましたが、本当に一瞬のミスで相手にゴールを与え0-1で負けてしまいました。3位決定戦では自分たちのゲームプラン通りに試合を進めながらも決定的なチャンスを決めきることができず、惜しくも敗れてしまいました。

しかし、大会を通して徐々にチームとしてすべきことの共通理解が図られ、特にこの3位決定戦ではチームとしてイメージを共有し戦えたと思います。ゲーム終了後、「負けてしまったけれど試合が楽しかった」といった選手の言葉にチームとしての充実感を感じられました。

今回国体チームとして活動し、選手・スタッフともに選抜チームとしてチームを作っていくことの難しさを感じましたが、大会に向けての準備、大会を通しての戦い方、そしてトップとの差など非常にいい経験ができたと思います。この経験をそれぞれが所属チームで活かし、そして同時に県としての課題を県内選手の育成に活かし、また福島県選抜として挑戦していきたいと思っています。

最後になりますが、今大会にあたり関わっていただいた多くの方々に感謝を申し上げ、大会報告とさせていただきます。



●レスリング競技 競技得点 19.5点 天皇杯 24位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	グレコローマンスタイル85kg級	2	7	星 翔也	日本体育大学 4年
	フリースタイル65kg級	1	4.5	前田 翔吾	クリナップ(株)
少年男子	フリースタイル74kg級	5	2.5	我妻 志比古	田島高等学校 2年
	グレコローマンスタイル66kg級	3	5.5	湯 浅 悠人	田島高等学校 2年

※前田翔吾の1位4.5点は、準々決勝で競技終了となったため。



レスリング 星翔也選手・湯浅悠人選手

●自転車競技 競技得点 27点 天皇杯 10位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ケイリン	8	1	金 内 一行	中央大学 3年
	ポイントレース	4	5	緑 川 竣一	中央大学 4年
少年男子	1kmタイム・トライアル	8	1	中 村 滝一	平工業高等学校 3年
	ポイントレース	6	3	渡 辺 将太	白河実業高等学校 3年
男子	ケイリン	7	2	伊 藤 近	平工業高等学校 3年
	4kmチーム・パーシュート	4	15	緑 川 裕也	日本大学 2年
				我妻 優弥	日本大学 4年
				緑 川 竣一	中央大学 4年
				久保田 元気	日本大学 4年



前田翔吾選手



自転車「4kmチーム・パーシュート」

●馬術競技 競技得点 27点 天皇杯 10位 皇后杯 15位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	馬場馬術	4	5	杉 本 隆雄	東北馬事センター
	自由演技馬場馬術	3	6	杉 本 隆雄	東北馬事センター
	六段障害飛越	8	1	吉 田 賢人	東北馬事センター
成年女子	馬場馬術	7	2	杉 本 晃美	東北馬事センター
	自由演技馬場馬術	7	2	杉 本 晃美	東北馬事センター
少年	標準障害飛越	6	3	杉 本 葵生	富里高等学校 3年
	トップスコア	8	1	杉 本 葵生	富里高等学校 3年
	団体障害飛越	2	7	杉 本 葵生	富里高等学校 3年
				鈴木 駿	福島商業高等学校 3年
				杉 本 瑞生	富里北中学校 3年



馬術 鈴木駿選手・杉本葵生選手

●フェンシング競技 競技得点 3点 天皇杯 23位 皇后杯 16位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	フルーレ	8	3	高 橋 恋	川俣高等学校 2年
				佐 藤 真春	川俣高等学校 2年
				廣 瀬 新	福島高等学校 1年



フェンシング 少年男子

●相撲競技 競技得点 0点 天皇杯 13位 ※個人戦は獲得得点なし

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	個人戦	4	0	志 賀 秀登	相馬農業高等学校 2年

誇り

バドミントン競技 富岡高等学校 大堀 彩

私たちは、悲願であった国民体育大会少年女子で初優勝を果たすことができました。これまで私が最上級生として闘ってきた大会(全国選抜・インターハイ)ではすべて優勝してきただけに、どうしても負けられない大会でした。決勝戦の前、会場を見渡すと家族や先生方、福島県の関係者の方々が多数応援に駆け付けてくれていました。「私は一人ではない。たくさんの仲間と、そして応援して下さる皆さんとともにこの場に立っているんだ。」そう感じた瞬間泣きそうになりました。

そして迎えた決勝戦、相手は全国選抜・インターハイ同様青森県(青森山田)。私はダブルスと第2シングルスにエントリーしました。最初に行われたダブルスでは、周囲の方々の力が私たちを後押ししてくれ、この大会でペアを組むのが最後になる同級生の東野有紗さんとともに、会心のゲームで勝つことができました。続いて第1シングルスは後輩の川上紗恵奈さんが自信に満ち溢れたプレーで勝利し、2-0で優勝を果たすことができました。優勝した瞬間のことはあまりよく思い出せません。しかし思いっきり楽しかった記憶だけは残っています。きっと仲間を信じ、そして自分の歩んできたプロセスを信じ、家族や仲間、そして応援して下さる方々とともに闘うことができたからだと思います。

東日本大震災・原発事故などにより、私はたくさんのものを失いました。しかし同時にたくさんの人と出会い、それこそかけがえのないものなのだということが気付くことができました。私をここまで育ててくれた故郷福島県の選手として、また母校富岡高校の選手として日本一になれたことを誇りに思います。





ソフトボール 成年男子

古賀穂選手



川上紗恵奈選手



鈴木康大選手



佐藤競選手



なぎなた 白石桃子選手・栗城桃選手



伊藤丈選手



林勇介選手

●ソフトボール競技 競技得点 40点 天皇杯 12位 皇后杯 8位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		5	20	菅野 崇	(有)岡田屋製麺工場
				星野 嵩幸	国士舘大学 2年
				小林 大記	福島市スポーツ振興公社
				鈴木 常聖	中京学院大学 1年
				長谷川 雅人	(株)デンソー福島
				鈴木 恭平	福島県商工信用組合
				門馬 聡	城西大学 4年
				平井 恭史郎	協和ボーリング(株)
				今泉 信吾	若松第一高等学校 教員
				深谷 輝樹	(株)東洋食品機械
				菅野 智春	しらいわ接骨院
				大河原 維章	大宗建設(株)
				成年女子	
猪井 玲那	関東学園大学 3年				
石田 奈々	(株)豊田自動織機				
宮川 眞子	早稲田大学 1年				
遠藤 千夏	東京国際大学 2年				
町野 瑛	葵高等学校 教員				
廣野 好美	富士大学 2年				
秋山 麻美	東海理化(株)				
井塚 千尋	東海理化(株)				
矢内 麻美	西郷第一中学校 教員				
鈴木 結璃奈	富士システムズ(株)				
内村 さお里	太田看護学校 3年				
嶋原 涼夏	東京国際大学 1年				

●バドミントン競技 競技得点 42点 天皇杯 3位 皇后杯 2位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		3	18	古賀 穂	富岡高等学校 3年
				渡辺 勇大	富岡高等学校 2年
				三橋 健也	富岡高等学校 2年
少年女子		1	24	大堀 彩	富岡高等学校 3年
				東野 有紗	富岡高等学校 3年
				川上 紗恵奈	富岡高等学校 2年

●カヌー競技 競技得点 35点 天皇杯 13位 皇后杯 18位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	カヤックシングル500m	1	8	鈴木 康大	(株)久野製作所
少年男子	カヤックシングル500m	1	8	野地 裕太	二本松工業高等学校 3年
少年男子	カヤックシングル200m	2	7	野地 裕太	二本松工業高等学校 3年
少年女子	カヤックシングル500m	4	5	小久保 南海	安達高等学校 2年
少年女子	カヤックシングル200m	2	7	小久保 南海	安達高等学校 2年

●空手道競技 競技得点 7.5点 天皇杯 20位 皇后杯 13位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	形	4	5	佐藤 競	勿来工業高等学校 2年
少年女子	組手	5	2.5	井芹 麻美	学法福島高等学校 3年

●なぎなた競技 競技得点 6点 天皇杯 16位 皇后杯 16位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	演技	7	6	佐藤 里咲	会津若松ザベリオ学園高等学校 2年
				栗城 桃	会津学鳳高等学校 3年
				白石 桃子	会津学鳳高等学校 3年

●ボウリング競技 競技得点 6点 天皇杯 24位 皇后杯 19位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	個人	5	4	伊藤 丈	(株)東北装美
	個人	7	2	林 勇介	(株)プロスタイル

●ゴルフ競技 競技得点 16.5点 天皇杯 10位 皇后杯 3位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
女子		3	16.5	高久 あずさ	東北福祉大学 2年
				蛭田 みな美	学法石川高等学校 2年
				岩城 杏奈	学法石川高等学校 2年

※同打数3位のため競技得点は16.5点

●トライアスロン競技 ※トライアスロン競技は公開競技のため競技得点なし

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		2	0	菊池 日出子	トライアスロンアカデミー 福高

※トライアスロン競技は公開競技のため競技得点なし

●高校野球(硬式)競技 ※高校野球競技は公開競技のため競技得点なし

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	硬式	5	0	船迫 大雅	聖光学院高等学校 3年
				高野 光輝	聖光学院高等学校 3年
				安田 光希	聖光学院高等学校 3年
				藤原 一生	聖光学院高等学校 3年
				柳沼 健太郎	聖光学院高等学校 3年
				石垣 光浩	聖光学院高等学校 3年
				八百板 卓丸	聖光学院高等学校 3年
				伊三木 駿	聖光学院高等学校 3年
				飯島 翼	聖光学院高等学校 3年
				今泉 慶太	聖光学院高等学校 2年
				佐藤 翼	聖光学院高等学校 3年
				佐藤 都志也	聖光学院高等学校 2年
				山口 優	聖光学院高等学校 3年
				原田 元気	聖光学院高等学校 3年
				藤田 理志	聖光学院高等学校 2年
				梅田 誉大	聖光学院高等学校 3年



ゴルフ女子



杉本隆雄選手

『プレッシャーをはねのけて』

ウエイトリフティング競技 福島工業高等学校 佐藤 啓隆

第69回長崎がんばらんば国体少年男子94kg級に出場し、目標であった優勝をすることができました。3月に行われた全国選抜大会、8月の南関東インターハイと合わせ、全国大会3冠を手にすることができました。今大会は、今までとは違った思いがありました。それは、福島県選手団の旗手という大役を任されたことにより、自分のことだけではなく、福島県のチームの一員として、また、県民の皆様が注目してくれているという意識を強く持ったことです。更に、絶対に高校3冠を達成するという大きな目標をたてたことによるプレッシャーもかなりありました。

このような中、試合前の大切な期間に腰痛に悩まされ、なかなか思うような練習ができず、気持ちだけが空回りするような日々が続きました。周囲からの声援が日ごとに大きくなる一方、体調はなかなか戻らず、あつという間に大会を迎えてしまい、これから競技に臨む意気込みなど忘れてしまうぐらい緊張と不安が混ざり合いました。

今までの大会でこんなにも心身ともに不調な試合は初めての中でスナッチ競技が始まりました。設定重量は115kg、引き出した瞬間は軽いのですが、腰に激痛が走るのを恐れ、2回連続で失敗してしまい、あとがありませんでした。頭の中が真っ白になりましたが3本目は何とか成功させ、2位になることができました。クリーン&ジャークでは、同じ過ちをしないように、怪我を恐れず挑んだ結果、2本目で勝負を決め、3本目はトータル優勝を決めるための重量を成功させ、念願の高校3冠を達成することができました。

振り返ってみると、現地入りした日から、監督の長南先生、コーチの小野寺先生、金子先生はじめ、県体育協会の方々から温かいことばや励ましのことば、怪我を気遣うことばなど私を優勝へ導くヒントとなることばをかけていただいたのだと今さらながら気付きました。また、8月に行われた日韓中ジュニア交流戦と一緒に戦った仲間からの激励などがあったので、このようなコンディションでも優勝することができたと思います。県民の皆様の期待に応えられて本当に良かったと思います。ご声援ありがとうございました。

目標であった全国3冠を達成した私ですが、この競技に出会ったのは高校入学後でした。入部当初は、県大会で競技できればいいくらいにしか思っていませんでした。しかし、練習するごとに記録が伸び、記録が伸びると目標も大きくなっていきました。私がかつまで成長できたのも顧問の長南先生の影響があったからだと思います。練習、仲間、努力、人として大切なことを学ぶことができました。

今後は大学に進学し、更なる目標に向け努力していくつもりです。今までとは違った環境になりますが、先生方に教わったことを忘れずに練習に取り組み、世界に通用する選手になり、県民の皆様や仲間、そしてお世話になった先生方に恩返しをしたいと思っています。



7度目の国体

陸上競技 福島大学 五十嵐 麻央

中学3年時に少年B走幅跳で初めて国体に出場し、今年の長崎国体は私にとって7度目の国体でした。学生最後の国体となる今年は、今までお世話になった方々に結果で恩返しをしたいという強い思いがありました。

前日のミーティングで「明日は流れを変えてくれ」と跳躍コーチの先生に言われました。その言葉を受け、私がやるべきことは「しっかり福島県に点数を取ること」、その思いがより一層強くなりました。国体直前まで、決して調子が良かった訳ではありませんでした。しかし、跳べる！そんな気がしました。

試合当日は国体という舞台を楽しもう！と思い競技に臨みました。1、2本目は失敗跳躍になってしまいましたが、先生からアドバイスを頂きながら修正し、3本目でシーズンベストとなる6m24を跳ぶことが出来ました。久しぶりに自己ベストに近づく跳躍ができたので、それからは自己ベストを狙って思い切り跳びました。最終的には3本目にマークした記録が今大会の最高記録となり、残念ながら自己ベストを跳ぶことはできませんでしたが、7度目の国体で初めて優勝という形で福島県に貢献できたことが本当に嬉しかったです。6月の日本選手権で日本一になることが出来ましたが、自分の中でまだ日本一を実感出来ていない部分がありました。しかし、この国体で再び日本一になったことで自分に力がついたのだと感じることができました。

私が福島県にできることは陸上競技を通して元気な姿を見せることだと思っていたので、今大会はその役目を少しは果たすことができたかな、とホッとしています。多くの方々の支え、ご声援のおかげで優勝することができました。ありがとうございました。



国体優勝

カヌー競技 二本松工業高等学校 野地 裕太

「発艇1分前」五百メートルの決勝レースが1分後にスタートするという合図が響きました。普段なら一番緊張が高まる場面ですが、今回は違いました。それは、このレースが私の高校生活で最後の500mだったからです。私は、中学の頃からカヌー競技を行っているので、このレースは6年間の集大成でした。今まで積み重ねてきた練習は自信へと変わり、緊張しすぎることなく、スタートをむかえることができました。スタート直後、私は周りの選手より出遅れてしまいました。しかし、私は、ラストスパートに一番の自信を持っていたので、焦ることなく自分のレースを繰り広げることができました。ラスト200mを過ぎたあたりから、一気にスパートをかけました。ラストは、とにかく前だけを見てがむしゃらに艇を前に進めることだけを考えて漕ぎました。2位との差は0.3秒という僅差だったために、ゴール直後はどちらが勝ったのか分かりませんでした。しかし、心の中では勝ちを信じている自分がいました。陸に上がってから優勝を知らされ、歓喜しました。

今まで、何度か全国大会に出場させていただきましたが、優勝したことはありませんでした。毎回、優勝を目指して大会に出場していましたが、その度に悔しい思いをしてきました。思い通りにタイムが出ない時もありましたが、中学時代に先生に言われた「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」という言葉に胸に練習を重ねてきました。

毎日の練習を支えてくれた両親、指導して下さった監督・コーチ・先生方、私たちの目線でアドバイスして下さった先輩方、いつも応援して下さる地域の方々、一緒に練習して競い合ったライバル、そして、仲間。私は、本当に多くの方々に支えられているのだと、改めて思いました。皆様に心からの感謝を申し上げます。



菅野直人選手



小久保南海選手



陸上女子4×100mリレー



渡部佳朗選手



生涯スポーツキャンペーン2014

親子体操教室

実技講習会



福島県体育協会主催の生涯スポーツキャンペーンとしての「親子体操教室」は今年で8回目。「実技講習会」は昨年のいわき市での開催に続き2回目となりました。今回は第68回全国レクリエーション大会2014福島の協賛行事として9月20日(土)に郡山市教育委員会の共催により郡山市カルチャーパークアリーナで開催しました。

講師には、NHKおかあさんといっしょ第10代目体操のお兄さん佐藤弘道氏をお迎えしました。

「親子体操教室」には郡山市を中心に3～6歳の未就学児とその家族、約560名の参加がありました。

歌や音楽に合わせてのプログラムはどれも楽しく、親子の笑顔や笑い声があふれました。

あっという間の1時間。意外にお父さんやお母さんの運動量が多く、ひろみちお兄さんが「もっとやりたい人?」という問いかけに子どもたちは元気に手を挙げ、「もうやりたくない人?」と質問すると、たくさんの保護者の方が手を挙げ会場が笑いでいっぱいになりました。終了後は、みなさん笑顔で会場を後にしてくれました。

午後の部の「実技講習会」では、子どもたちの発達段階に合わせた運動、またその指導方法についての運動理論の講義からスタートし、子どもたちが様々な運動感覚をつかむことができるような体操を、たくさん教えていただきました。

今回は、郡山市の八山田保育園の先生方や郡山女子大学の学生さんなどのご協力を得ることができ、運営を支えていただきました。ありがとうございました。



インフォメーション

日本体育協会公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

日本体育協会公認スポーツ指導者は、その資格を更新するために最低4年に1度、義務研修会を受講する必要があります。(更新予定日の半年前までの受講)

今年度はあと1回研修会を開催します。更新予定日が2015年10月で、まだ義務研修会を受講していない方は、ぜひ受講をお勧めします。

第3回福島県 スポーツ指導者研修会

期日 平成27年1月25日(日)

締切 平成27年1月9日(金)

会場 郡山ユラックス熱海

問合せ先

福島県スポーツ指導者協議会
024-938-7649

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです!

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp

(公財)福島県体育協会

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

ふくしまから世界へ! 「ふくしま夢アスリート」育成支援事業

この事業は、2020年東京オリンピック開催決定を契機に、世界の舞台を目指した選手育成事業をとおして、ふるさとに愛着を持ち、ふるさとに勇気と希望を与えるアスリートを育て、県内外に福島県の元気を発信することを目的としたものです。

夢アスリート (40名)

山下 潤 (陸上競技)	遠藤 日向 (陸上競技)	布川 輝 (陸上競技)	波田野瑠花 (陸上競技)
鈴木 颯人 (陸上競技)	小谷菜津美 (ソフトテニス)	米山 芽玖 (ソフトテニス)	鈴木沙弥香 (ハンドボール)
佐原奈生子 (ハンドボール)	服部 翼 (水泳)	加藤 樹 (水泳)	寺田 拓未 (水泳)
安部翔一郎 (水泳)	小松 桃子 (水泳)	吉田 真実 (水泳)	大堀 彩 (バドミントン)
東野 有紗 (バドミントン)	古賀 穂 (バドミントン)	西 豊 (バドミントン)	渡辺 勇大 (バドミントン)
三橋 健也 (バドミントン)	川上紗恵奈 (バドミントン)	小林 大吾 (バドミントン)	仁平 菜月 (バドミントン)
吾妻 咲弥 (バドミントン)	山澤 直貴 (バドミントン)	筑後 恵太 (バドミントン)	金子 真大 (バドミントン)
由良なぎさ (バドミントン)	高橋明日香 (バドミントン)	永井 瀬霧 (バドミントン)	長谷部尚仁 (スキー)
長谷部宏仁 (スキー)	水澤 彩佳 (スケート)	杉本 葵生 (馬術)	近内 三孝 (ウエイトリフティング)
佐藤 啓隆 (ウエイトリフティング)	我妻翔比古 (レスリング)	大河内未来 (ボウリング)	小久保南海 (カヌー)

トップコーチ (10名)

富本 栄次 (ハンドボール)	菊池由喜男 (スケート)	蓮沼 哲哉 (トライアスロン)	長南 国彦 (ウエイトリフティング)
篠原 宏和 (ボクシング)	小久保英一知 (カヌー)	伊藤 丈 (ボウリング)	坂本 幸司 (ラグビーフットボール)
笠原裕二郎 (アイスホッケー)	今村 浩之 (レスリング)		

スタートダッシュミーティング

平成 26年 6月 18日 (水)、福島県体育協会指定の「夢アスリート」及び「トップコーチ」が福島テルサに一同に集い、スタートダッシュミーティングが開催されました。ミーティングでは、夢アスリートとトップコーチの代表への指定証の交付や決意表明、オリンピックメダリストの有森裕子氏による講演、福島大学教授の白石豊氏及び公立藤田総合病院管理栄養士の山崎有理子氏による講義が行われました。



「ふくしま夢アスリート」ふれあい教室

平成26年11月1日(土)、県立田村高校において、「ふくしま夢アスリート」ふれあい教室が開催されました。

夢アスリートの近内三孝選手(2014ジュニア世界ウエイトリフティング選手権日本代表)と佐藤啓隆選手(ウエイトリフティング全国大会高校三冠)が小学生たちとのふれあいをとおして、ウエイトリフティング競技の魅力や運動の楽しさ、そして大きな夢に向かって努力することの大切さを伝えました。



「マルチサポート事業」メディカルチェック

7月から10月にかけて、公立藤田総合病院において「メディカルチェック」が実施されました。内容は、整形外科的・内科的メディカルチェック、コントロールテスト、栄養チェック、ドーピングアセスメントなどです。参加した「夢アスリート」は、自分の身体の特徴や補強ポイントを把握するとともに、食生活やドーピング防止への意識を高めることができました。



「トップコーチ養成事業」基礎研修

平成26年5月22日(木)、福島テルサにおいて、「トップコーチ養成事業」基礎研修が開催されました。当日は、JOC理事で中部大学教授の蒲生晴明氏を講師にお招きし、オリンピズムの考え方やトップコーチの資質について講義をしていただきました。その後、グループディスカッションを実施し、「福島県スポーツの現状分析」や「各競技の課題と目標」などについて情報交換が行われました。



「トップコーチ養成事業」課題解決研修

平成26年7月10日(木)、福島テルサにおいて「トップコーチ養成事業」第1回課題解決研修が開催されました。研修では、福島大学教授の白石豊氏が、「福島のスポーツを再び強くしてみませんか」という題で、ご自身の経験から導いたコーチングスキルについて講義をしてくださいました。

平成26年9月2日(火)、福島テルサにおいて、「トップコーチ養成事業」第2回課題解決研修が、講師に福島大学教授の白石豊氏、県立富岡高校バドミントン部顧問の大堀均氏をお招きし、開催されました。大堀先生からは、富岡高校バドミントン部設立から今年度史上初のインターハイ男女アベック優勝までの選手たちへの指導方法の変化について御自身の経験を元にお話ししていただきました。白石先生からは、「目指すところは、県で勝つのではなく、日本一、世界へ!」というお話をいただきました。



平成26年度 第1回福島県スポーツ指導者研修会 相双ブロック研修会

スポーツ指導方法「暴力・反倫理的行為の根絶をめざして」
～自発性・潜在能力を引き出すための指導方法 理論・実践～

福島県スポーツ指導者協議会では、日本体育協会公認スポーツ指導者の義務研修会として年3回のスポーツ指導者研修会を実施しています。今年度1回目の研修会は、10月26日(日)に伊達市の保原中央交流館にて開催しました。

まず大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供がありました。

その後、清水隆一コーチングカレッジ株式会社代表清水隆一先生から、野球の指導者としての体験談や質問提案型の指導を取り入れ、選手の自発性や潜在能力を引き出す大切さの話がありました。また午後から、具体的な指導場面におけるコミュニケーションの取り方などについて、中学生の野球部員をモデルに実践指導を行いました。

受講者は、自分の競技の指導に生かそうと、真剣なまなざしで研修会に臨んでいました。



スポーツ医事・ トレーニング相談事業の様子

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的として、依頼により、相談員・講師を派遣しています。相談員・講師は、本協会のスポーツ医・科学委員、

スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、その他スポーツ医・科学委員会の認めた方が務めています。今年度は、11月までに延べ50名の相談員・講師を派遣しました。



①7/2 東日本国際大学

講義：「スポーツと栄養」
講師：山崎有理子氏（公立藤田総合病院）

②7/8 南相馬市鹿島生涯学習センター

実技：「バランスボールを使ったトレーニング」
講師：二瓶敦志氏（ARCクリニックよしだ整形外科）

③7/9 糠沢小学校

講習：「子どもの健康と運動の役割」
講師：松山弘幸氏（県体育協会認定A T）

④8/28 福島県バレーボール協会

講習：「ドーピング防止について」
講師：渡邊和樹氏（みはる調剤薬局）

⑤9/28 たまかわ元気スポーツクラブ

実技：「健康に生きるための身体づくり」
講師：相原 真氏（まこと接骨院）

うつくしま広域スポーツセンター

第8回全国スポーツクラブ会議in南相馬開催

平成 26 年 5 月 17 日 (土) ~ 18 日 (日) に南相馬市で NPO 法人はらまちクラブが主管となり、第 8 回全国スポーツクラブ会議 in 南相馬が開催されました。

今回のテーマは「被災地でめぐりあい！二十歳（はたち）の総合型地域スポーツクラブの夢発信」。全国のクラブから 906 名の方々が参加されました。初日の基調講演では、トリノ、バンクーバー五輪に出場されたフィギュアスケートの安藤美姫氏を招き「日本スポーツのゆめ」というテーマでトークショーが開催されました。また、午後からはテーマごとの分科会が開催され活発な意見交換が行われました。



甲冑姿の武士も登場した開会式



会場いっぱいの参加者



意見交換した分科会の様子

2 日目の午前中はクラブの夢、自分の夢を発表する「クラブのゆめ自慢大会」が行われました。また、「プロ直伝シンポジウム」として順天堂大学教授の黒須充氏をコーディネーターとしてお迎えし、パネラーである代表クラブアドバイザーのクラブ支援の取り組みについてパネルディスカッションが行われました。閉会式では次年度開催地の島根県に大会旗が引き継がれました。元気な南相馬をアピールできた素晴らしい大会となりました。

第68回全国レクリエーション大会2014福島「うつくしまふくしま体験ひろば」開催

9 月 19 日 (金) ~ 21 日 (日)、第 68 回全国レクリエーション大会 2014 福島が福島市を中心として、県内 18 市町村において、盛大に開催されました。

うつくしま総合型スポーツクラブユニオンは、20 日、21 日の両日、福島県レクリエーション協会、福島市レクリエーション協会及び参加団体と協議を重ねながら、福島駅街なかひろば、A O Z を会場とした、県ユニオン自主事業を兼ねて「うつくしまふくしま体験ひろば」に参画しました。

体験ひろばでは、地区ユニオンごとに運動・健康・文化に係る体験教室を開催しました。生涯スポーツに係る大きいイベントなので、事前研修会や各地区への説明会を開催して本番に臨みました。当日は、地区ユニオンのカーブバンナーを掲げ、結束力を高めながら素晴らしい運営がなされました。2 日間で延べ 1,517 人の方々がユニオンの体験教室に参加され、普段経験できないような種目や運動に楽しく取り組む姿が見られました。多くの方々に種目の紹介だけでなく総合型地域スポーツクラブをアピールする機会ともなりました。

全国レクリエーションに関わったうつくしま総合型地域スポーツクラブユニオンの皆様お疲れ様でした。



体験ひろばの様子です。
各地区ユニオンとも
大盛況でした。

みんなで作ろう総合型！
総合型地域スポーツクラブ

須賀川大森 スポーツクラブ



須賀川大森スポーツクラブは、須賀川市の東の端に位置し、大栗区と狸森区の2つの行政区からなります。大森地区は、福島空港や平成13年のうつくしま未来博の会場地として知られています。行政区・育成会・老人会などの地域のつながりは強い地域であり、大東区で10月に開催される大東地区運動会は、各行政区の代表が運営にあたり、市内最大の盛り上がりを見せます。伝統行事や郷土料理も大切に守られており、地域住民が自分たちの地域を大切にしようという意識が強いです。また、スポーツが盛んな地区として自他共に認めており、市内の大会でも活躍しています。

地区在住のスポーツ推進委員が中心となり、大森地区のスポーツ振興、地域住民の体力向上、元気な地域づくりなどを目標に総合型地域スポーツクラブを設立しようという提案があり、市教育委員会、市スポーツ推進委員会、広域スポーツセンターからも設立に向けた後押しがありました。

スポーツ推進委員、区役員、長寿会、スポーツ愛好会、子ども会代表をメンバーとし、設立準備委員会を開催し平成18年3月「須賀川大森スポーツクラブ」が誕生しました。世代間を超えたスポーツ交流大会を実施し、グラウンド・ゴルフやマレットゴルフ、など会員が徐々に増加しています。また、地域伝統行事に積極的に参加することにより、子どもたちの地域へ目を向ける貴重な場となっています。



スポーツ雪合戦



木船城祭り



羽山祭り軽登山



地域親善ゴルフ大会



大東地区体育祭



グラウンド・ゴルフ大会

定期活動

- グラウンド・ゴルフ
- マレットゴルフ
- バレーボール
- インディアカ
- ミニバスケット
- バドミントン

各種大会

- 地域親善ゴルフ大会
- グラウンド・ゴルフ大会
- マレットゴルフ大会
- カローリング大会
- スポーツフェスティバル
- ボウリング大会
- トップアスリート教室

地域行事

- 羽山祭り軽登山
- 狸森区三日正月球技大会
- 大東地区球技大会
- 大東地区体育祭
- 大栗地区球技大会
- 木船城祭り秋の陣
- とうれいぼう

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
http://www.u-kouiki.jp/USC.html
E-mail: utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680 FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター (いわき市民プール管理棟内)

〒970-8032 いわき市平下荒川字南作101
http://www.u-kouiki.jp/USC.html

TEL 0246-29-8608 FAX 0246-29-8608

(公財)福島県体育協会賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

《法人・団体特別会員》

(公財)仁泉会
 福島県議会スポーツ振興議員連盟
 エクセルツリー(株)
 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
 (株)セントラル住設
 (株)ダイユーエイト
 (株)エアコレクト
 (福)創世福祉事業団

(株)東邦銀行
 東亜道路工業(株)福島営業所
 (有)カネチョウウ坂本商店
 (株)環境分析研究所
 福島県信用保証協会
 福島テレビ(株)
 (一財)ふくしま未来研究会

(株)ヨークベニマル
 クリヤマ(株)仙台営業所
 福島県ゴルフ連盟
 (株)テレビユー福島
 福島県商工信用組合
 クリナップ(株)いわき事業所
 東北建設(株)

《法人・団体会員》

福島キヤノン(株)
 東栄物産(株)
 (有)佐平
 (株)フジゴルフガーデン
 ふくしま陸上スポーツ少年団
 (有)吾妻印刷
 川俣貨物(株)
 東信建設(株)
 福島県信用金庫協会
 クレハ錦建設(株)
 名鉄観光サービス(株)福島支店
 (株)福南電気
 (株)日産サテオ福島
 江花建設(株)
 (株)ル・プロジェ
 (株)モリヨシ技研
 (株)福島中央テレビ
 FSGカレッジリーグ
 (株)クレハ生産本部いわき事業所
 ワタナベカーペット(株)
 福島県立医科大学器官制御外科学講座
 (株)ファミリーケア
 タカラ印刷(株)
 (株)福島放送
 ※他に匿名希望 3(法人・団体)

(株)友愛
 (株)グラコム
 (有)挽野自動車
 (有)古川瓦建材
 野田陸上クラブスポーツ少年団
 みずの内科クリニック
 (株)佐藤信博建築設計事務所
 キング印刷(株)
 菅野建設(株)
 磐城通運(株)
 月電工業(株)
 福浜大一建設(株)
 東北索道協会福島地区部会
 (株)東北装美
 (株)NIPPO福島統括事業所
 (株)海老名建設
 福島日産自動車(株)
 (株)クレハ環境
 (株)ユアテック福島支社
 キョウワセキュリティオン(株)
 (株)メディア・ネットワーク
 (有)大波商店
 関場建設(株)
 (一財)大原綜合病院

入三機材(株)
 (株)ヤスタ創建
 大邦産業(株)
 (株)高橋建設
 (株)山口工芸
 (公財)藤田教育振興会
 大宝建設(株)
 (株)ウエディングエルティ
 (株)セルラー電話サービス福島
 第一温調工業(株)
 (株)クラロン
 福島ヤクルト販売(株)
 北斗印刷(株)
 (有)エンドースクリーン
 小名浜製錬(株)小名浜製錬所
 堀江工業(株)
 月電ソフトウエア(株)
 (株)三宅新聞店
 (株)福島製作所
 東北電力(株)福島営業所
 内池醸造(株)
 (株)旭電化
 (有)おりおり
 (株)幸楽苑

《個人特別会員》

御代田 公 男 山 本 和 子

《個人会員》

五十嵐 義 鈴 木 千 賀 子 星 本 文 齋 藤 久 小 杉 誠 八 巻 一 夫	加 藤 誠 一 伊 藤 藤 隆 賀 子 柴 野 照 夫 松 藤 本 久 小 杉 誠 八 巻 一 夫	水 戸 眞 由 子 佐 藤 森 崎 俊 一 砂 子 田 鈴 木 浩 一 遠 藤 村 石 井 久 小 杉 誠 八 巻 一 夫	安 藤 喜 勝 幸 野 田 豪 一 彦 砂 子 田 鈴 木 浩 一 遠 藤 村 石 井 久 小 杉 誠 八 巻 一 夫	六 戸 正 信 之 渡 邊 正 仁 結 藤 城 藤 永 久 小 杉 誠 八 巻 一 夫	小 富 本 孝 隆 永 廣 瀬 敬 彦 佐 藤 城 藤 永 久 小 杉 誠 八 巻 一 夫	福 田 正 美 ※他に匿名希望 3(名)	阿 部 正 美 ※他に匿名希望 3(名)
---	---	---	---	---	---	----------------------	----------------------

(平成25年12月4日～平成26年12月3日) (順不同・敬称略)

賛助会員加入のお願い

本協会では、県民の皆様からのご支援により本県スポーツの推進を目的とする事業にご賛同いただける賛助会員の募集を年間を通して行っております。
 皆様におかれましては、趣旨をご理解のうえ、賛助会員としてご入会いただき、本県スポーツの推進の一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費(年会費)

○個人賛助会員
 1口 10,000円(1口以上何口でも可)
 ○法人・団 thể賛助会員
 1口 10,000円(1口以上何口でも可)
 ※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。
 詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号
 公益財団法人 福島県体育協会
 電話 024(521)7896
 FAX 024(521)7971
 E-mail
 info@sports-fukushima.or.jp

編集後記

6月に「第98回日本陸上競技選手権大会」、9月に「第68回全国レクリエーション大会2014福島」が開催され、全国の皆様に福島の元気を発信することができました。

また、第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」では、本県選手団の輝かしい活躍が光り、天皇杯順位で目標の30位前半となる34位を達成することができました。選手団の活躍に多くの県民が感動し、勇気をもらいました。

今後とも県民の皆様にも、さまざまなスポーツ情報を提供できるよう努力してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願いいたします。

あん スポ安全くん

いざというときしっかりサポート

心配しなくて大丈夫

頼りに
なります！



傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険



対象となる事故 団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間 平成26年4月1日午前0時から平成27年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成26年3月から)

加入区分・掛金・補償額 団体活動を行う5名以上の方々でご加入ください。加入区分は加入者ごとにご選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当り)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額			
				死亡	後遺障害 (後遺障害)	入院 (入院)	通院 (通院)					
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円 身体・財物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、身体賠償は1人1億500万円	突然死 急性心不全 脳内出血など 葬祭費用 180万円			
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 AW区分の特典：個人活動・個人練習なども補償の対象となります。 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算1事故500万円
大人 高校生以上 65歳以上の 方も加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動、団体の送迎、応援、準備、片付け ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円 ※自動車事故によって賠償責任 を負った場合は、補償の対象 となりません。	突然死 急性心不全 脳内出血など 葬祭費用 180万円			
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円					
	子どもへのスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円					
65歳以上 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	スポーツ活動	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円					
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円					

※同一団体が1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入替え、加入区分の変更はできません。※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8065 福島市杉妻町 5-75 福島県庁東分庁舎 3号館 TEL024-526-4600 電話受付時間：午前9時～12時、午後1時～午後5時(土、日、祝日を除く)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受け付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項)の概要についてご紹介したものです。ご加入の際は、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書により、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社(担当課) 第2部公第1課
TEL 03-3515-4133(平日9:00~17:00)
(共同引受保険会社(平成26年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上
平成25年12月作成 0792-1304-B13259-201312
1701-1304-B13247-201311

スポーツ安全協会 検索
インターネットからも
加入受付を行って
おります。詳しくは、
ホームページをご覧ください。